Panasonic

# デジタル アナウンス ユニット

# 取扱説明書

品番 TO-555

（メモリーカートリッジ別売）

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この説明書と添付の保証書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
そのあと大切に保管し、わからないとき再読してください。

■保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて、販売店からお受取りください。

工事説明書別添

保証書別添

上手に使って上手に節電


はじめに
時刻合わせのしかた
プログラムのしかた
修正のしかた
テストのしかた
動作のしかた
使用上のご注意／他

# もくじ

## はじめに



## 時刻合わせのしかた



## プログラムのしかた



## 修正のしかた



この装置は、商工業地域で使用されるべき第一種情報装置です。
住宅地域またはその隣接した地域で使用するとラジオ、テレビジョン受信機等に受信障害を与えることがあります。

## テストのしかた



## 動作のしかた



## 使用上のご注意／他

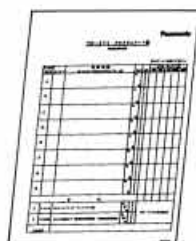
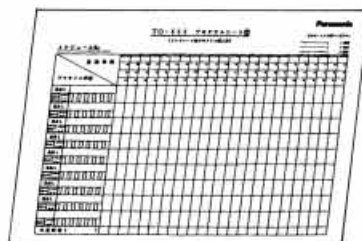
# 付属品の確認

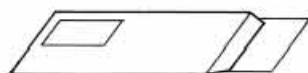
●下記の付属品をご使用前にお確かめください。

取扱説明書

簡易取扱説明書

工事説明書

プログラムシート①

プログラムシート②

プログラムシート③

保証書

ＡＣ電源コード

ＤＣ電源コード
（2極、線色 赤－黒）

アンプ制御出力コネクタ

外部機器制御出力コード
（3極、線色 青－白）

時刻修正／ストップ入力コード
（6極、線色 黄-黒・青-黒）

音声コード

イヤホン

ピンプラグ

ラックアングル用取付ネジ
M4×10（4本）

# 特長



## 週間プログラムタイマーをはじめとする日課放送に必要なさまざまな機能を搭載しています。

### 週間プログラムタイマーを内蔵

放送スケジュールや外部機器のコントロール等の設定が秒単位でできるプログラムタイマーを内蔵（199プログラムまで設定可能）。既存タイマーとの時間同期が可能です。

### チャイム、ラジオ体操を標準実装

本体に、チャイムとラジオ体操第一（郵政省簡易保険局、日本放送協会制定）の音源を内蔵しています。

### 4種類の放送スケジュール設定

放送スケジュールの内容を4種類まで設定可能で、雨天や会社行事、季節、変則勤務等状況に応じた放送パターンをワンタッチで切換、選択できます。

### メモリーはカートリッジ式

音源は、カートリッジにデジタルで記憶しますので、テープのように長期使用による音質劣化や停電時における音声頭出し操作のわずらわしさもありません。音源の時間に応じて5タイプを用意。

### 8種類、最大27分の音源を装着可能

メッセージや音楽、チャイム等の音源を8種類までカートリッジ（別売）に書き込みし装着できます。208秒タイプカートリッジ8個使用の場合、最大約27分間の音源を装着できます。また、1つの音源が208秒をこえる場合は、複数のカートリッジの音源を接続することができます。（最大6ステップまで）

### ご使用の前に…

本機に内蔵されている音源以外の内容を再生するには、別売のメモリーカートリッジが必要です。
メモリーカートリッジは、お買い上げの販売店へ音源の内容をご指定のうえ、ご注文願います。

# 操作の前に

「使用上のご注意」(☞34ページ)も必ずご覧ください。

## ■メモリーカートリッジについて(別売)

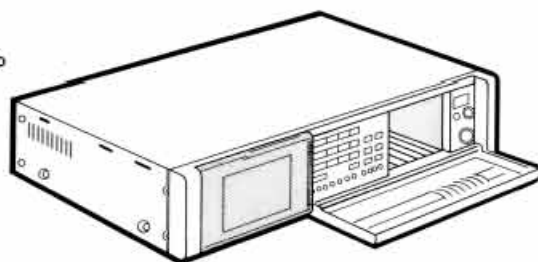
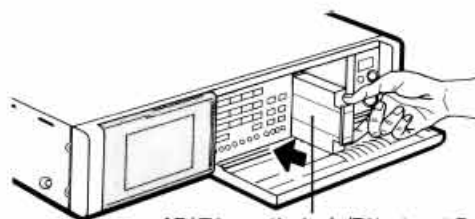
本機に使用するメモリーカートリッジは別売になっていますのでご注意ください。

| 品　名 | 品　番 | アナウンス時間 |
|---|---|---|
| メモリーカートリッジ | TO-550M13S | 13秒 |
| | TO-550M26S | 26秒 |
| | TO-550M52S | 52秒 |
| | TO-550M104S | 104秒 |
| | TO-550M208S | 208秒 |

※メモリーカートリッジは、最大で8個装着できます。

## ■メモリーカートリッジの入れかた、取り出しかた

(本機の電源スイッチを切った状態で行ってください。)

●フロントカバーを開ける。

●メモリーカートリッジの銘板シールを左側にして、最後まで確実に差し込んでください。
取り出すときは、メモリーカートリッジを手前に引き、取り出してください。

ご注意

- メモリーカートリッジが確実に差し込まれていないと、異常音がでたり、再生しないときがあります。
- メモリーカートリッジの銘板シールをはがさないでください。音源内容が消去されてしまうことがあります。
- メモリーカートリッジのコネクタ部には直接手をふれないでください。
接触不良など、故障の原因になることがあります。

## ■プログラムのバックアップについて

本機は、内蔵バッテリーにより、完全充電されますと、停電時でも記憶されたプログラムの内容と内蔵時計の動作を約１ヶ月間(周囲温度25℃の場合)保持することができます。

ご注意

- 完全充電するには、通電された状態で約３日間かかります。
  （本機は、内蔵バッテリーに充電するため、電源スイッチを「切」にしただけでは約４Ｗの電力を消費しております。）
- 停電の状態が繰り返されますと、内蔵時計の精度が悪くなり、停電補償時間も短くなります。

## ■停電表示について

停電から復帰すると、〝ピピピ……〟と約３秒間鳴り［停電］が点滅し、停電のあったことを知らせます。

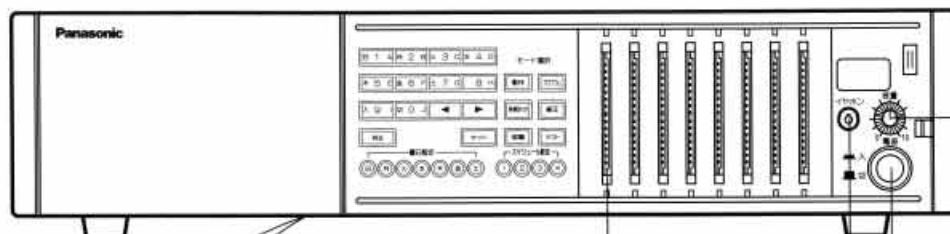
（［停電］の点滅は、［動作］キーを押すと解除されます。）

# 各部の名称と働き

## ■前面

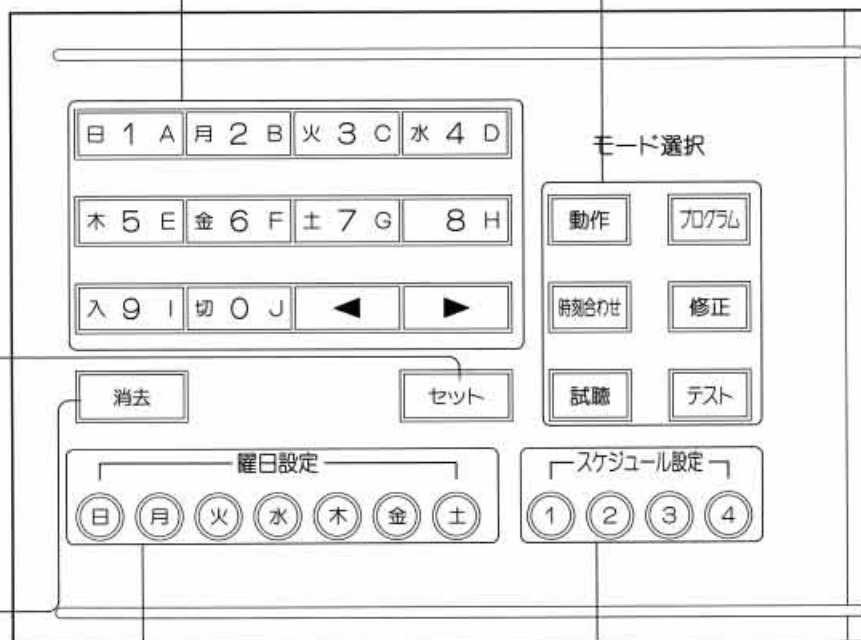
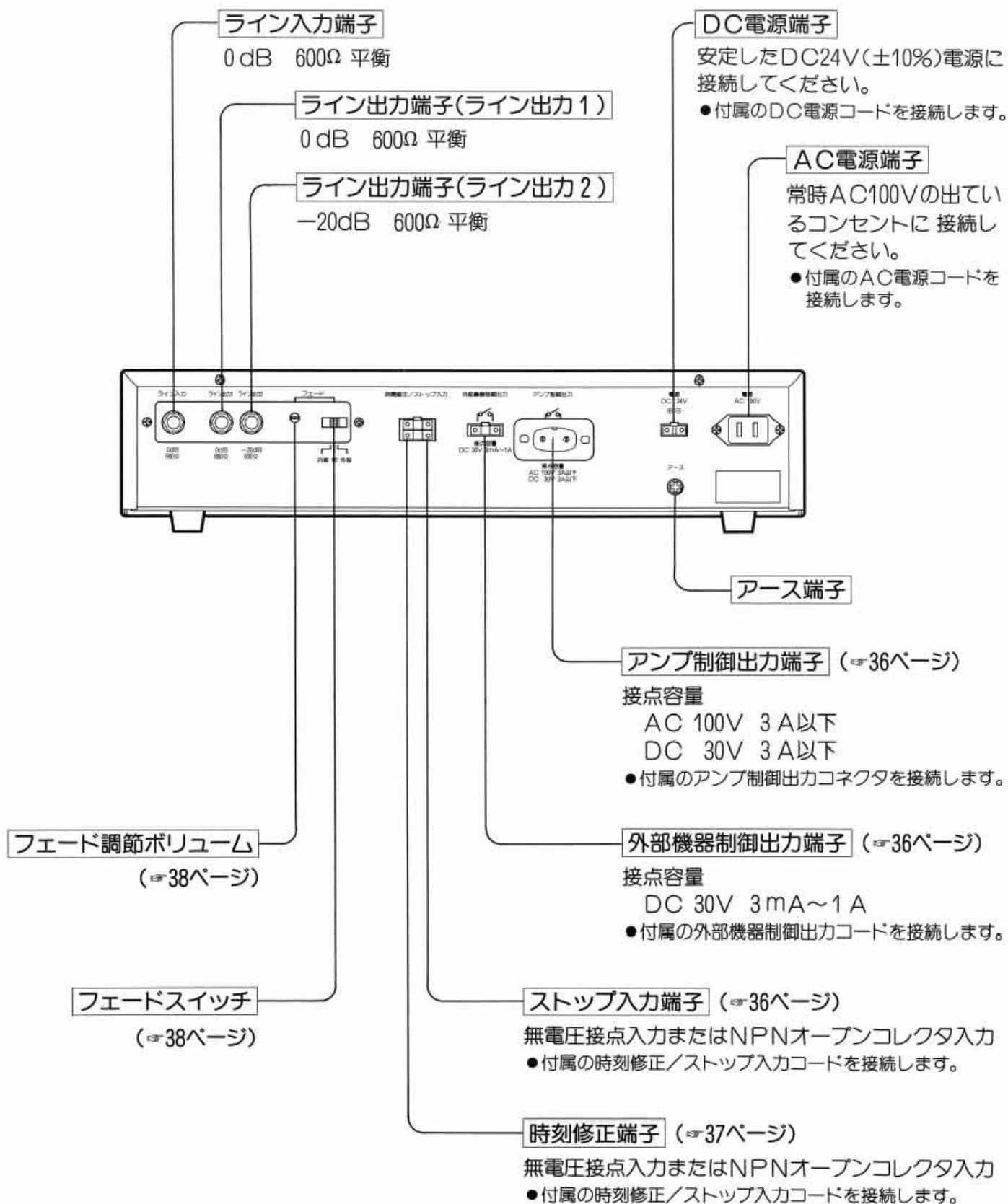
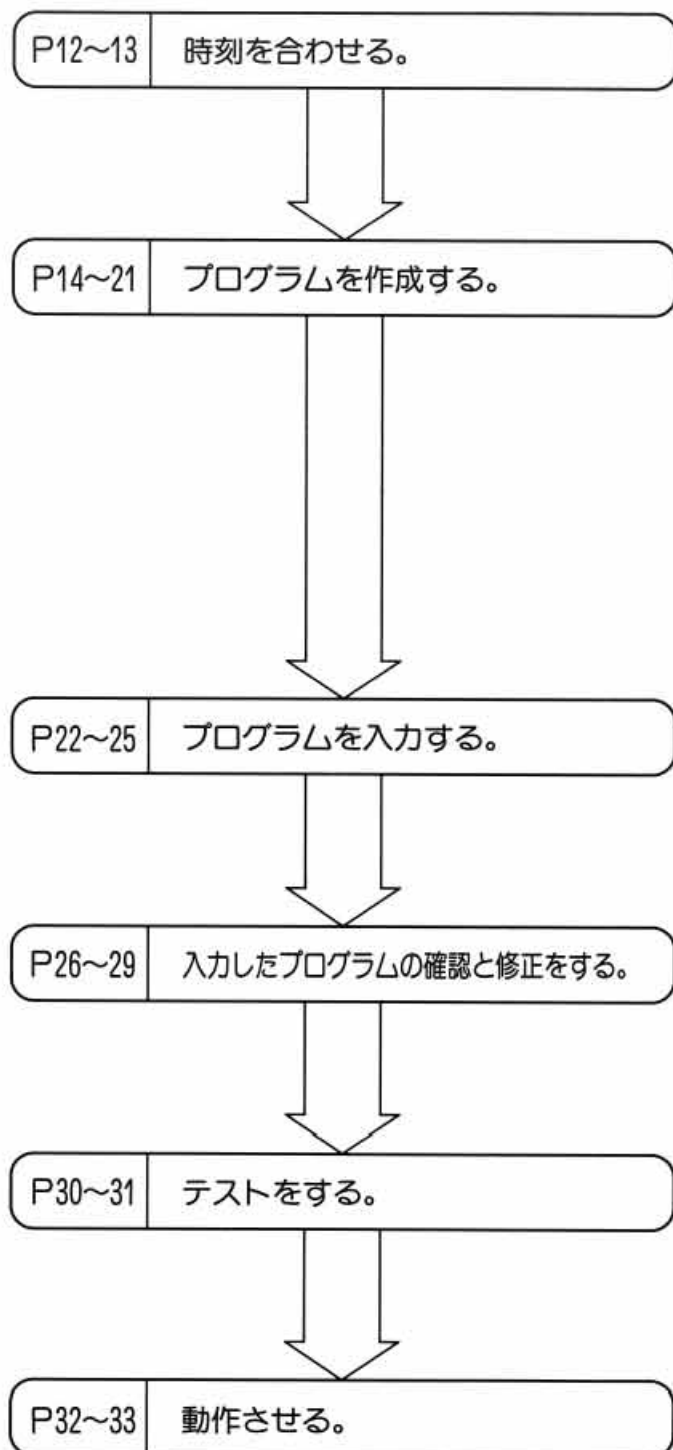
Panasonic
液晶表示部
フロントカバー
押ー開ボタン
曜日設定内容を表示します。
選択されたモードを表示します。
モード
動作
時刻合わせ
試聴
プログラム
修正
テスト
操作ロック状態のとき表示します。
操作ロック
プログラムNo.
スケジュール
088
1234
日 月 火 水 木 金 土
88時 88分 88秒
アナウンス内容
外部機器
1-2-3-4-5-6
入 切
ディレー
カートリッジ
音量
88
ABCDE
FGHIJ
08
曜日設定
日 月 火 水
木 金 土
スケジュール設定
エラー 8
●スケジュール設定内容を表示します。
●「エラー」が点灯した場合は、エラー内容を番号で表示します。
(☞41ページ)
停電
停電があった場合に点滅します。
セット
各モードで、入力した内容を決定できる場合に点滅します。
動作モード時は現在時刻を表示し、プログラム動作中は、その内容を表示します。
その他のモードでは入力した内容を表示します。

## ■前面

※前面のフロントカバーを開けたときのものです。

| モード | 説　明 |
|---|---|
| 動作 | プログラム動作をします。通常はこのモードにしておきます。 |
| 時刻合わせ | 時刻を合わせます。 |
| 試聴 | メモリーカートリッジの音源内容・音量を確認します。 |
| プログラム | プログラムを入力します。 |
| 修正 | 入力したプログラムを確認・修正・消去します。 |
| テスト | 入力したプログラムの動作を確認します。 |

# 各部の名称と働き

## ■後面

ライン入力端子
0dB　600Ω 平衡
ライン出力端子(ライン出力1)
0dB　600Ω 平衡
ライン出力端子(ライン出力2)
−20dB　600Ω 平衡
DC電源端子
安定したDC24V(±10%)電源に接続してください。
●付属のDC電源コードを接続します。
AC電源端子
常時AC100Vの出ているコンセントに 接続してください。
●付属のAC電源コードを接続します。
アース端子
アンプ制御出力端子 (☞36ページ)
接点容量
AC 100V 3A以下
DC 30V 3A以下
●付属のアンプ制御出力コネクタを接続します。
フェード調節ボリューム
(☞38ページ)
外部機器制御出力端子 (☞36ページ)
接点容量
DC 30V 3mA〜1A
●付属の外部機器制御出力コードを接続します。
フェードスイッチ
(☞38ページ)
ストップ入力端子 (☞36ページ)
無電圧接点入力またはNPNオープンコレクタ入力
●付属の時刻修正／ストップ入力コードを接続します。
時刻修正端子 (☞37ページ)
無電圧接点入力またはNPNオープンコレクタ入力
●付属の時刻修正／ストップ入力コードを接続します。

# 操作の流れ

●現在の正確な曜日と時刻に合わせます。

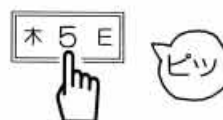
●メモリーカートリッジの音源内容、音量を確認します。

●動作させたいプログラムを作成し、プログラムシートに記入します。

●作成したプログラムシートをもとに入力します。

●入力したプログラムに間違いがないか確認して修正します。

●動作確認を行います。

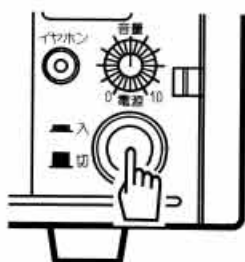
●動作モードにし「操作ロック」をします。

# 時刻合わせのしかた

## ■曜日と時刻の合わせかた

●現在の正確な曜日と時刻に合わせます。

時刻の表示は…
- ●24時間表示です。
- ●午前９時の場合〝09時〟となります。

〈例〉水曜日の午後３時30分45秒に合わせるには

1

電源を接続し、フロントカバーを開け電源スイッチを押す。

●〝ピピピ…〟と約３秒間鳴り 停電 が点滅します。

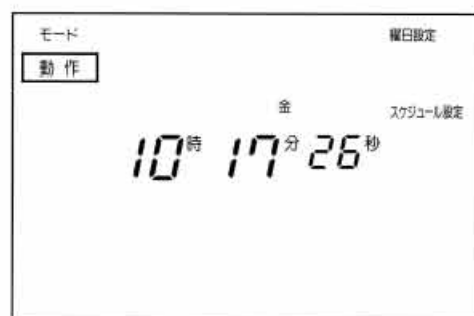
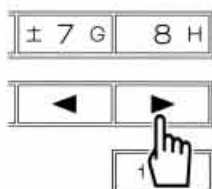
2

動作 キーを押す。

● 停電 が消えます。

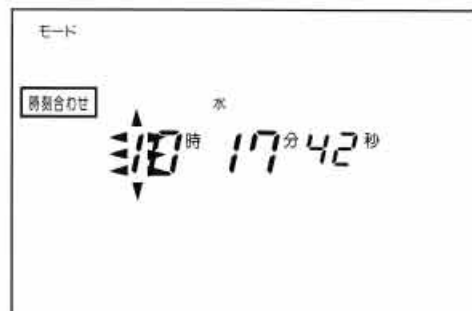
3

時刻合わせ キーを押す。

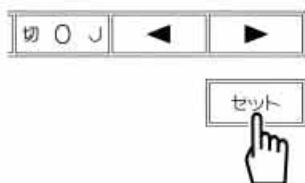
4

► キーを押し、曜日を点滅させる。

※曜日、時刻の点滅の移動は、◄・► キーで行えます。

メモ 各モード入力中、３分間キー入力が行われないと 動作 モードに戻ります。

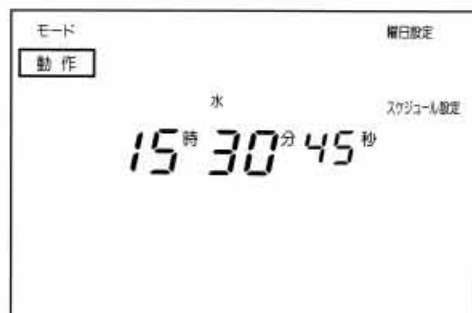
5

水4Dキーを押し、曜日を合わせる。

6

日1A→木5E→火3C→切0J→水4D→木5Eとキーを順に押して時刻を合わせる。

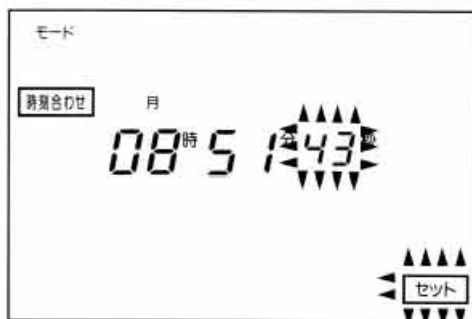
7

入力した内容を確認し、セットキーを押す。

● セットキーを押した時点から時計が動きはじめます。

※時刻の修正をする場合は、3～7の操作で行ってください。

## ■00秒リセットのしかた

●時刻に数秒の誤差が出た場合の時刻合わせに便利です。

1

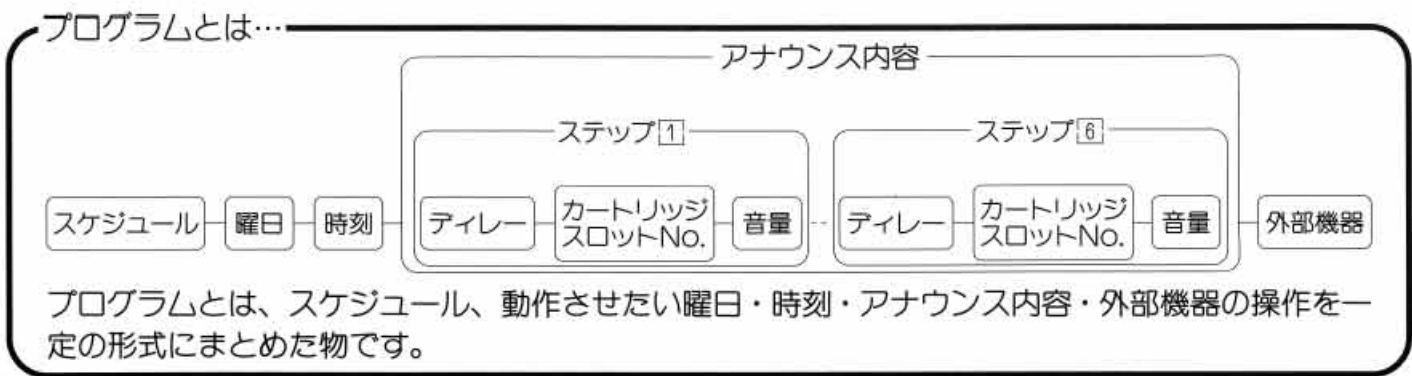
時刻合わせキーを押す。

2

セットキーを押す。

● セットキーを押した時点での秒が00～29秒のときは切り捨てられ、31～59秒のときは分への桁上げが行われ、00秒からスタートします。

# プログラムの作成

## ■プログラムについて

プログラムとは、スケジュール、動作させたい曜日・時刻・アナウンス内容・外部機器の操作を一定の形式にまとめた物です。

●付属のプログラムシートを使って、プログラムを作成してください。
（プログラムシートはあらかじめ必要な枚数をコピーしてからお使いください。）

1．プログラムシート①の記入 ………………… メモリーカートリッジの音源内容の確認をします。
2．プログラムシート②の記入 ………………… スケジュール別のプログラムを作成します。
3．プログラムシート③の記入 ………………… 本体に入力するためのプログラムを作成します。

●〈表1〉のアナウンス内容例をもとに、プログラムのしかた～動作のしかたまでを説明します。

**〈アナウンス内容例〉**

•スケジュールは通常（1～6月・10～12月）と夏期（7～9月）の2種類
•朝礼は通常・夏期とも月曜日のみ行う。

〈表1〉

| スケジュール1（通常　1～6月・10～12月） | | スケジュール2（夏期　7～9月） | |
|---|---|---|---|
| 08:30 | チャイム（ウエストミンスター）・朝の体操・朝礼（朝礼は月曜日のみ） | 08:30 | チャイム（ウエストミンスター）・朝の体操・朝礼（朝礼は月曜日のみ） |
| 12:00 | チャイム（ウエストミンスター） | | |
| 12:05 | BGM「入」 | 12:30 | チャイム（ウエストミンスター） |
| | | 12:35 | BGM「入」 |
| 12:45 | チャイム（希望の鐘）　BGM「切」 | | |
| 12:50 | チャイム（ウエストミンスター） | | |
| | | 13:15 | チャイム（希望の鐘）　BGM「切」 |
| | | 13:20 | チャイム（ウエストミンスター） |
| 15:00 | 職場体操 | 15:00 | 職場体操 |
| 17:35 | チャイム（ウエストミンスター）・終業の案内 | 17:35 | チャイム（ウエストミンスター）・終業の案内 |

## ■プログラムシート①の記入のしかた

● メモリーカートリッジの音源内容・秒数を確認し、音量を決定します。

(ご注意) 音源内容等の確認はメモリーカートリッジごとに行います。(複数のカートリッジにまたがる試聴はできません。)

**音量の決定について**

本機は、用途、時間帯等に合わせた音量での放送が可能で、プログラム入力時に設定します。

**準備**

1. 電源スイッチが「切」になっていることを確認し、メモリーカートリッジを入れる(☞ 6 ページ)
2. 本機の接続端子に、外部アンプ、ケーブル、コードなどを接続する。
3. 電源スイッチを「入」にする。

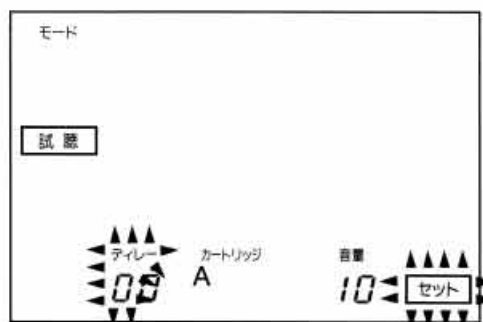
**1**

動作　プログラム　時刻合わせ　修正　試聴　テスト

試聴 キーを押す。

モード　試聴　ディレー 00　カートリッジ A　音量 10　セット

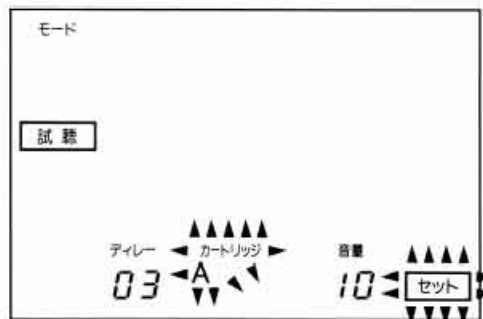
**2**

日 1 A　月 2 B　火 3 C　水 4 D　木 5 E　金 6 F　土 7 G　8 H　入 9 I　切 0 J　◄　►　消去　セット

ディレー(無音時間)を設定します。
(00～60秒)
※外部アンプをお使いの場合は、外部アンプが安定する時間分をディレーに設定してください。

例えば 切 0 J → 火 3 C とキーを押す。

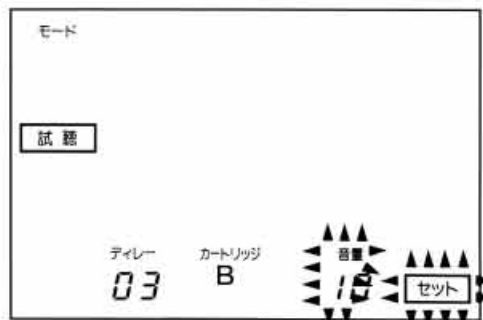
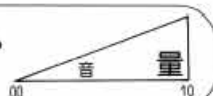
モード　試聴　ディレー 03　カートリッジ A　音量 10　セット

**3**

日 1 A　月 2 B　火 3 C　水 4 D　木 5 E　金 6 F　土 7 G　8 H　入 9 I　切 0 J　◄　►　消去　セット

カートリッジスロットNo.を選択します。(A～J)

例えば 月 2 B キーを押す。

モード　試聴　ディレー 03　カートリッジ B　音量 10　セット

**4**

例えば 切 0 J → 入 9 I とキーを押す。

# プログラムの作成

5

セットキーを押す。

- 音源内容・音量・秒数(ディレーは含まない)を確認し、プログラムシート①に記入します。
- 再生中もう一度セットキーを押すと、再生をストップします。

6

2～5の操作を繰り返し、すべてのメモリーカートリッジ(内蔵音源I、J含む)の音源内容、音量、秒数を確認し、プログラムシート①に記入する。(記入例☞下表)

各モード入力中、3分間キー入力が行われないと動作モードに戻ります。

## ●記入例

音源内容がわかるようなタイトルを記入する。

Panasonic

TO-555 プログラムシート①

(音源内容記入用)

※コピーしてお使いください。

| カートリッジアドレス№ | タイトル | 音源内容 (チャイム)/「アナウンス」/〈音楽〉 | 秒数 | 音量 | メモリーカートリッジ 13S | 26S | 52S | 104S | 208S |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | 朝礼案内 | 「皆さん、お早うございます。只今より、朝礼を行います。所定の場所にお集り下さい。」 | 約 9 秒 | 10 | ○ | | | | |
| B | リラックス体操 | 〈リラックス 体操〉 | 約 203 秒 | 10 | | | | | ○ |
| C | 職場体操案内 | (上り4打点チャイム)「皆さん、お仕事の手を休めて職場体操を致しましょう。」 | 約 9 秒 | 10 | ○ | | | | |
| D | 終業案内 | 皆さん、今日も一日お疲れさまでした。戸締り、火の元、電源を確認の上、気をつけてお帰り下さい」 | 約 11 秒 | 10 | ○ | | | | |
| E | チャイム | (希望の鐘) | 約 52 秒 | 10 | | | ○ | | |
| 合計 | | | | | 3 | | 1 | | 1 |
| I | チャイム | (ウエストミンスターチャイム16音) | 約 26 秒 | 09 | TO-555 本体内蔵音源 | | | | |
| J | ラジオ体操 | (ラジオ体操第一)『郵政省簡易保険局・日本放送協会制定』 | 約 190 秒 | 10 | | | | | |
| 外部機器 | | BGM演奏装置 | | | | | | | |

N1291T0

メモリーカートリッジのタイプに○印を記入する。

| ラベル色 | タイプ |
|---|---|
| 赤 | 13S |
| オレンジ | 26S |
| 緑 | 52S |
| 青 | 104S |
| 紫 | 208S |

タイプ別の合計を記入する。

本機後面の外部機器制御出力(☞36ページ)で制御する機器を記入する。

## ■プログラムシート②の記入のしかた

● 14ページの〈表１〉と記入済プログラムシート①をもとに、アナウンス内容をスケジュール別に作成します。

1

スケジュールNo.を記入する。

2

プログラムNo.と放送時間（外部機器も含む）を早いものから記入する。

● プログラムNo.は、001～199までのNo.を記入します。（例として001から始めます。）

※同じ時間でも曜日によりアナウンス内容が異なる場合は、それぞれひとつのプログラムとして記入します。

3

見出し、ディレー（無音時間・00～60秒）、カートリッジスロットNo.（A～J）を記入する。

※本機のアンプ制御出力でアンプの電源制御を行う場合は、アンプが安定する時間分を最初のディレーに設定してください。

4

放送時間とアナウンス内容の交点に○印を記入する。

※外部機器の場合は「入」・「切」を記入してください。

5

2～4の作業を繰り返し、プログラムシート②に記入し、曜日ごとに線で結ぶ。
（記入例☞18ページ）

# プログラムの作成

## ●記入例

1．スケジュールNo.1

Panasonic

TO-555 プログラムシート②

（スケジュール別プログラム記入用）

＊コピーしてお使いください。

スケジュールNo. 1

| 放送時間 | 001 | 002 | 003 | 004 | 005 | 006 | 007 | 008 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 時 | 08 | 08 | 12 | 12 | 12 | 12 | 15 | 17 |
| 分 | 30 | 30 | 00 | 05 | 45 | 50 | 00 | 35 |
| 秒 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 |

| アナウンス内容（見出し） | 番号 |
|---|---|
| 朝の体操・朝礼 | 02 I 60 J 03 A |
| 朝の体操 | 02 I 60 J |
| チャイム（ウェストミンスター） | 02 I |
| チャイム（希望の鐘） | 02 E |
| 職場体操 | 02 C 00 B |
| 終業の案内 | 02 I 01 D |

外部機器（ BGM 演奏装置 ）　入　切

2．スケジュールNo.2

Panasonic

TO-555 プログラムシート②

（スケジュール別プログラム記入用）

＊コピーしてお使いください。

スケジュールNo. 2

| 放送時間 | 009 | 010 | 011 | 012 | 013 | 014 | 015 | 016 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 時 | 08 | 08 | 12 | 12 | 13 | 13 | 15 | 17 |
| 分 | 30 | 30 | 30 | 35 | 15 | 20 | 00 | 35 |
| 秒 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 | 00 |

| アナウンス内容（見出し） | 番号 |
|---|---|
| 朝の体操・朝礼 | 02 I 60 J 03 A |
| 朝の体操 | 02 I 60 J |
| チャイム（ウェストミンスター） | 02 I |
| チャイム（希望の鐘） | 02 E |
| 職場体操 | 02 C 00 B |
| 終業の案内 | 02 I 01 D |

外部機器（ BGM 演奏装置 ）　入　切

## ■プログラムシート③の記入のしかた

●記入済プログラムシート①とプログラムシート②をもとに、本体に入力するためのプログラムを作成します。

プログラムNo.をシート②からシート③へ書きうつす。

| プログラムNo | スケジュール 1 | 2 | 3 | 4 | ► | 曜日 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | ► |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 001 | | | | | ► | | | | | | | | ► |
| | | | | | ► | | | | | | | | ► |
| | | | | | ► | | | | | | | | ► |
| | | | | | ► | | | | | | | | ► |
| | | | | | ► | | | | | | | | ► |

2

スケジュールNo.をシート②からシート③へ書きうつす。

| プログラムNo | スケジュール 1 | 2 | 3 | 4 | ► | 曜日 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | ► |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 001 | ✓ | | | | ► | | | | | | | | ► |
| | | | | | ► | | | | | | | | ► |
| | | | | | ► | | | | | | | | ► |
| | | | | | ► | | | | | | | | ► |
| | | | | | ► | | | | | | | | ► |

3

曜日をシート②からシート③へ書きうつす。

| プログラムNo | スケジュール 1 | 2 | 3 | 4 | ► | 曜日 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | ► |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 001 | ✓ | | | | ► | ✓ | | | | | | | ► |
| | | | | | ► | | | | | | | | ► |
| | | | | | ► | | | | | | | | ► |
| | | | | | ► | | | | | | | | ► |
| | | | | | ► | | | | | | | | ► |

4

時刻をシート②からシート③へ書きうつす。

| ► | 曜日 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | ► | 時刻 時 | | 分 | | 秒 | | ステ ディレー |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ► | ✓ | | | | | | | ► | 0 | 8 | 3 | 0 | 0 | 0 | |
| ► | | | | | | | | ► | | | | | | | |
| ► | | | | | | | | ► | | | | | | | |
| ► | | | | | | | | ► | | | | | | | |
| ► | | | | | | | | ► | | | | | | | |

# プログラムの作成

5

ディレーをシート②からシート③へ書きうつす。

6

カートリッジスロットNo.をシート②からシート③へ書きうつす。

7

音量をシート①からシート③へ書きうつす。

8

1～7の作業を繰り返し、プログラムシート③に記入する。

9

外部機器をシート②からシート③へ書きうつす。

(記入例☞21ページ)

## ●記入例

Panasonic

# TO-555 プログラムシート③

（プログラム記入用）

※コピーしてお使いください。

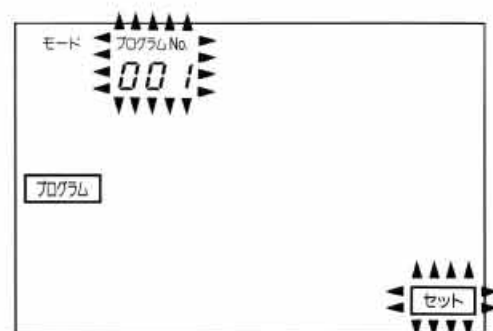
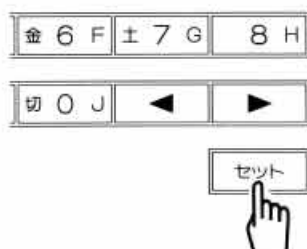
| プログラムNo. | スケジュール 1 | 2 | 3 | 4 | 曜日 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 時刻 時 | 分 | 秒 | ステップ1 ディレー | カートリッジスロット番 | 音量 | ステップ2 ディレー | カートリッジスロット番 | 音量 | ステップ3 ディレー | カートリッジスロット番 | 音量 | ステップ4 ディレー | カートリッジスロット番 | 音量 | ステップ5 ディレー | カートリッジスロット番 | 音量 | ステップ6 ディレー | カートリッジスロット番 | 音量 | 外部機器 入 | 切 | ► | セット |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 001 | ✓ | | | | | ✓ | | | | | | 08 | 30 | 00 | 02 | I | 09 | 60 | J | 10 | 03 | A | 10 | | | | | | | | | | | | ✓ | セット |
| 002 | ✓ | | | | | | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | | 08 | 30 | 00 | 02 | I | 09 | 60 | J | 10 | | | | | | | | | | | | | | | ✓ | セット |
| 003 | ✓ | | | | | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | | 12 | 00 | 00 | 02 | I | 09 | | | | | | | | | | | | | | | | | | ✓ | セット |
| 004 | ✓ | | | | | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | | 12 | 05 | 00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ✓ | | | セット |
| 005 | ✓ | | | | | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | | 12 | 45 | 00 | 02 | E | 10 | | | | | | | | | | | | | | | | | ✓ | | セット |
| 006 | ✓ | | | | | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | | 12 | 50 | 00 | 02 | I | 09 | | | | | | | | | | | | | | | | | | ✓ | セット |
| 007 | ✓ | | | | | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | | 15 | 00 | 00 | 02 | C | 10 | 00 | B | 10 | | | | | | | | | | | | | | | ✓ | セット |
| 008 | ✓ | | | | | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | | 17 | 35 | 00 | 02 | I | 09 | 01 | D | 10 | | | | | | | | | | | | | | | ✓ | セット |
| 009 | | ✓ | | | | ✓ | | | | | | 08 | 30 | 00 | 02 | I | 09 | 60 | J | 10 | 03 | A | 10 | | | | | | | | | | | | ✓ | セット |
| 010 | | ✓ | | | | | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | | 08 | 30 | 00 | 02 | I | 09 | 60 | J | 10 | | | | | | | | | | | | | | | ✓ | セット |
| 011 | | ✓ | | | | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | | 12 | 30 | 00 | 02 | I | 09 | | | | | | | | | | | | | | | | | | ✓ | セット |
| 012 | | ✓ | | | | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | | 12 | 35 | 00 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ✓ | | | セット |
| 013 | | ✓ | | | | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | | 13 | 15 | 00 | 02 | E | 10 | | | | | | | | | | | | | | | | | ✓ | | セット |
| 014 | | ✓ | | | | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | | 13 | 20 | 00 | 02 | I | 09 | | | | | | | | | | | | | | | | | | ✓ | セット |
| 015 | | ✓ | | | | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | | 15 | 00 | 00 | 02 | C | 10 | 00 | B | 10 | | | | | | | | | | | | | | | ✓ | セット |
| 016 | | ✓ | | | | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | ✓ | | 17 | 35 | 00 | 02 | I | 09 | 01 | D | 10 | | | | | | | | | | | | | | | ✓ | セット |

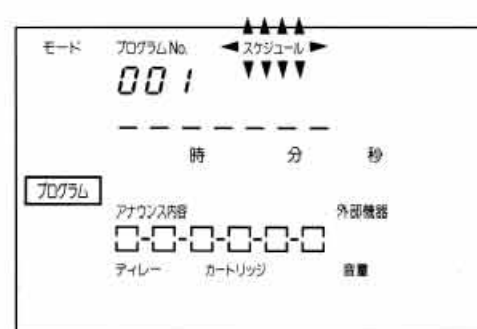
N1291T0

# プログラムの入力

●記入済プログラムシート③をもとにプログラムを入力します。
〈例1〉プログラムNo.001の内容を入力するには

プログラムキーを押す。

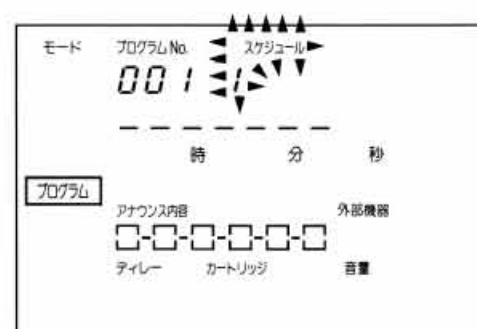
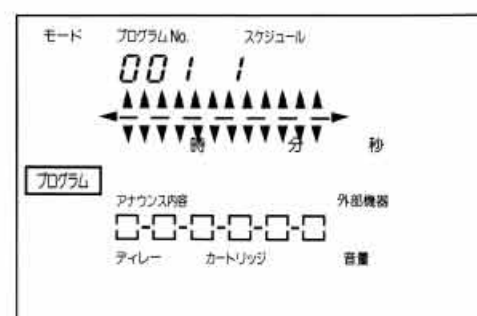
●001〜199の中でプログラムが入力されていない一番若いNo.を表示します。

2

セットキーを押す。

※プログラムNo.の選択は、◀・▶キーで送るか、プログラムNo.を入力することでも行えます。
（すでにプログラムが入力されているNo.は選択できません。）

3

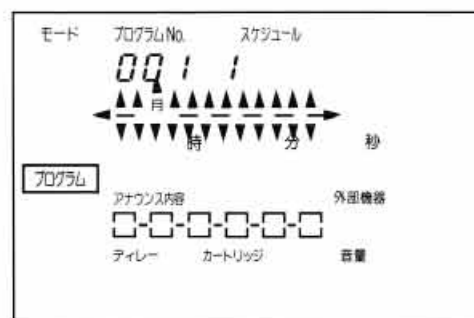
日 1 Aキーを押し、スケジュールを設定する。

※もう一度押すと消えます。

4

▶キーを押す。

メモ　各モード入力中、3分間キー入力が行われないと動作モードに戻ります。

5

月2Bキーを押し、曜日を設定する。

※もう一度押すと消えます。

6

▶キーを押す。

7

切0J→8H→火3C→切0J→切0J→切0Jとキーを順に押して時刻を設定する。

8

切0J→月2Bとキーを順に押してディレーを設定する。

※ディレーを設定した場合は、必ずカートリッジスロットNo.を設定してください。

（ディレーだけのプログラムは入力できません。）

9

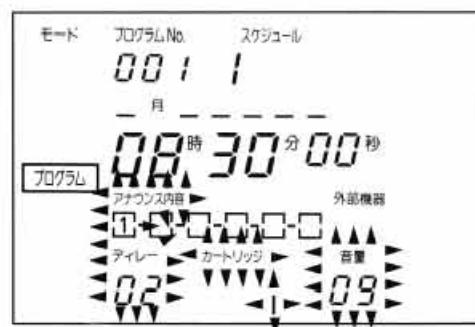
入9Iキーを押し、カートリッジスロットNo.を設定する。

メモ　プログラム入力中、消去キーを1秒以上押すと、そのプログラムNo.の入力した内容は消去されます。

# プログラムの入力

10

切0J→入9Iとキーを順に押して音量を設定する。

11

入力した内容を確認し、►キーを押す。

※入力した内容に間違いがある場合は、◄キーを押してその箇所を点滅させ、正しい内容を入力してください。

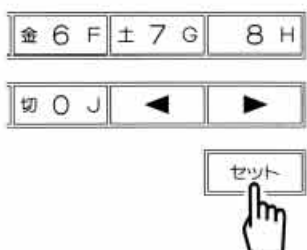
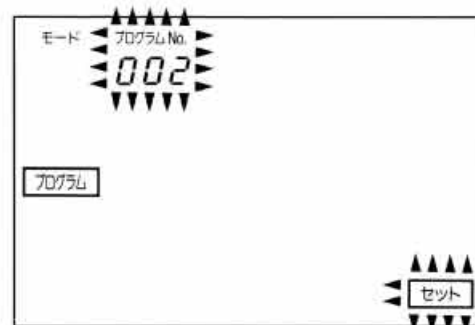
12

8～11の操作を繰り返し、ステップ3までの内容を入力する。

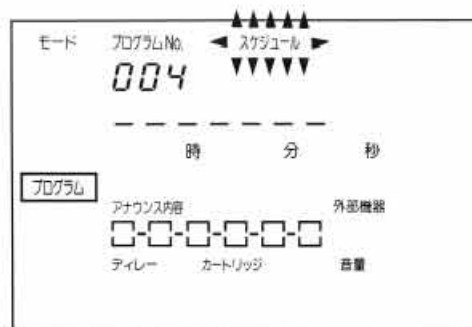
13

►キーを押して点滅をセットに移動させる。

※外部機器の設定を行う場合は、►キーを押して点滅を"外部機器"に移動させ入9Iまたは切0Jキーを押してください。

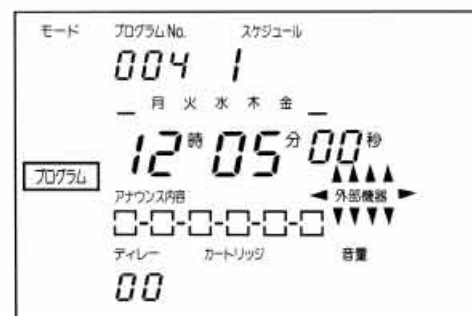
14

セットキーを押し、入力した内容を決定する。

〈例2〉プログラムNo.004の内容を入力するには

1

プログラムモードでプログラムNo.の点滅を004にし、セットキーを押す。

2

スケジュール・曜日・時刻を設定する。

3

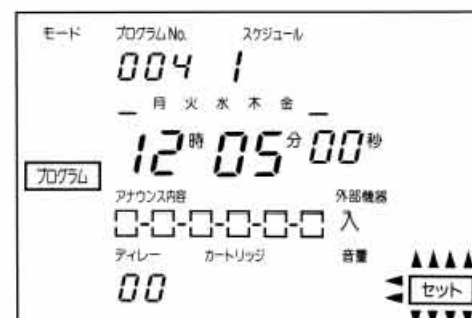
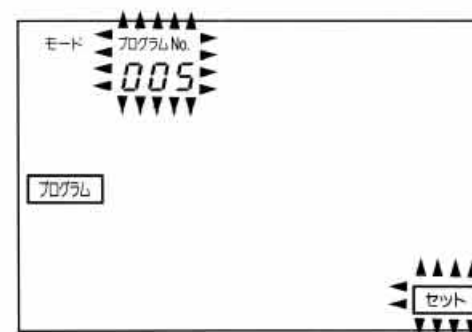
▶キーを押して点滅を"外部機器"に移動させる。

4

入9Iキーを押す。

※外部機器のみのプログラムの場合は、ディレーを設定することができません。

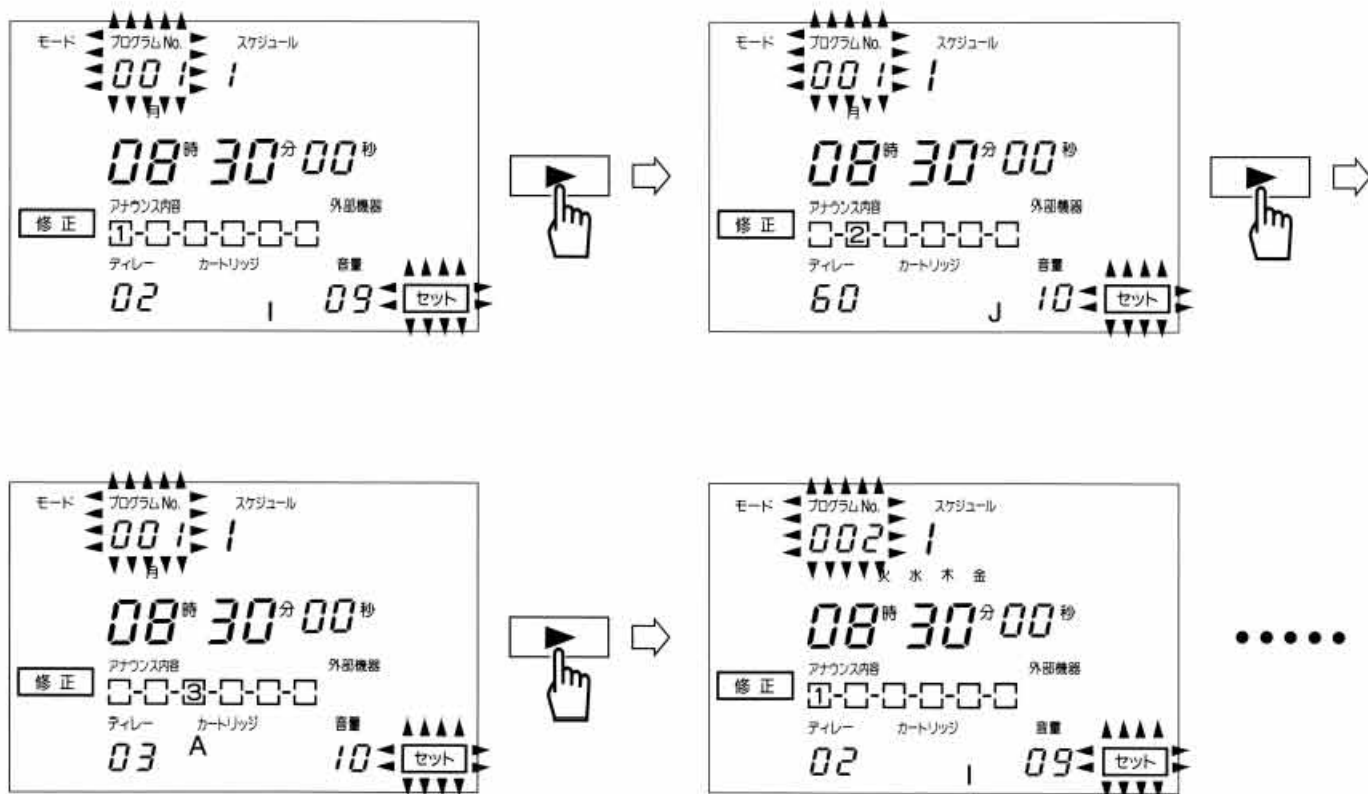
5

セットキーを押し、入力した内容を決定する。

22~25ページの〈例1・2〉と同様に操作を繰り返し、すべてのプログラムを入力してください。

# 入力したプログラムの確認と修正

●入力したプログラムをプログラムシート③と照らし合わせ確認をし、間違いがあれば修正します。

## ■ ◄ 、 ► キーで確認する場合

1

修正 キーを押す。

※ プログラム モードで 修正 キーを押すと、プログラムが入力されているひとつ前のプログラムNo.の内容を表示します。

2

► キーを押すごとに次のステップの内容を表示します。

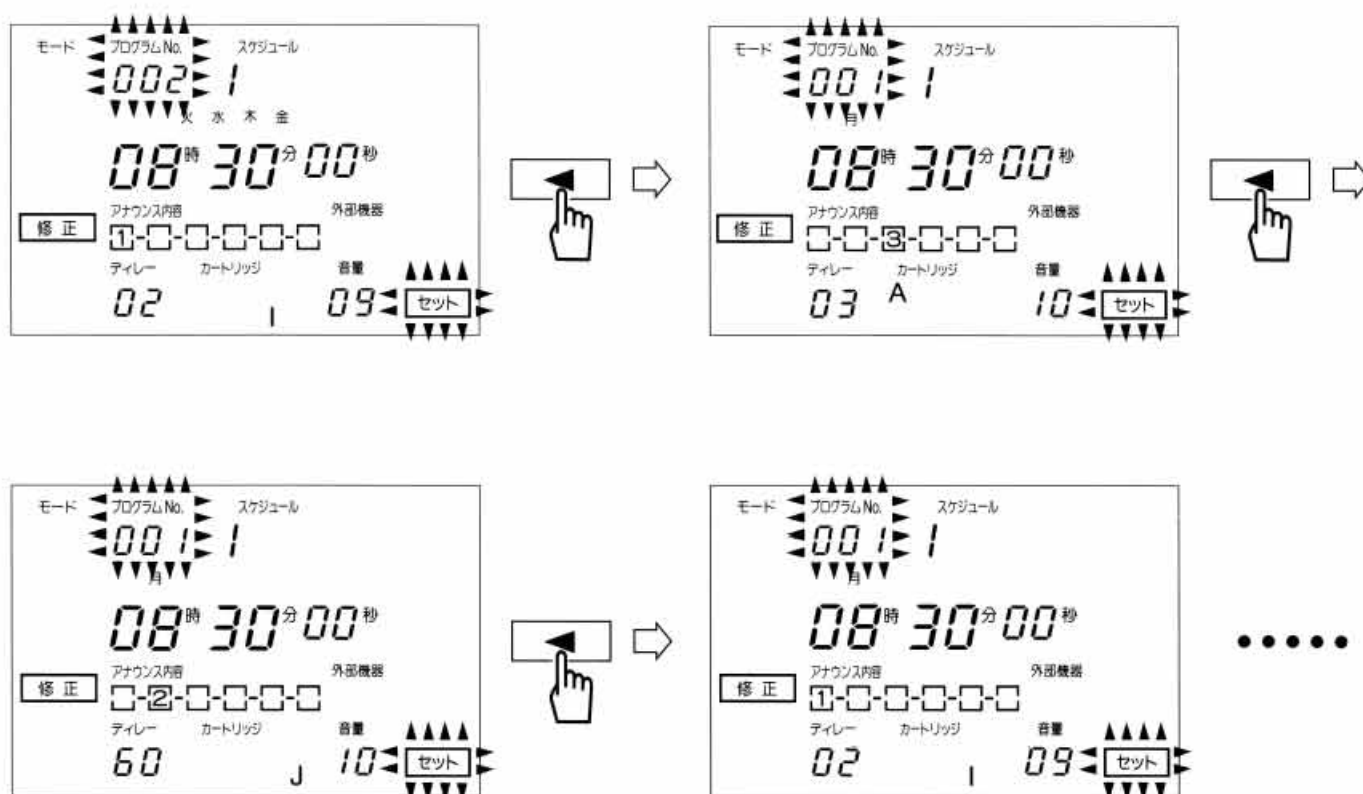
※次のステップが設定されていない場合は、次のプログラムNo.のステップ1の内容を表示します。
　外部機器が設定されている場合は、外部機器の内容も表示します。

メモ　各モード入力中、3分間キー入力が行われないと 動作 モードに戻ります。

◄ キーを押すごとに前のステップの内容を表示します。

※前のステップが設定されていない場合は、前のプログラムで設定されている最後のステップの内容を表示します。
外部機器が設定されている場合は、外部機器の内容も表示します。

・・・・・

---

3

2の操作で、入力したプログラムを確認する。

---

4

入力したプログラムに間違いがある場合は、その内容を表示しているときにセットキーを押し、◄・► キーで修正する箇所を点滅させ、正しい内容を入力してセットキーを押してください。

※カートリッジスロットNo.を消してセットキーを押した場合は、そのステップのディレーは00になり、次のステップ以降の設定されている内容がクリアされます。

---

# 入力したプログラムの確認と修正

## ■プログラムNo.を入力して確認する場合

1

修正 キーを押す。

2

プログラムNo.を入力します(001~199)

例えば 切0J → 日1A → 木5E とキーを順に押す。

※プログラムNo.の入力は、プログラムNo.が点滅しているときに行えます。
（プログラムが入力されていないNo.は、入力できません。）

3

◄ ・ ► キーを押してプログラムの確認を行う。

4

入力したプログラムに間違いがある場合は、その内容を表示しているときに セット キーを押し、 ◄ ・ ► キーで修正する箇所を点滅させ、正しい内容を入力して セット キーを押してください。

※カートリッジスロットNo.を消して セット キーを押した場合は、そのステップのディレーは00になり、次のステップ以降の設定されている内容がクリアされます。

# 入力したプログラムの消去

## ■プログラムごとの消去のしかた

〈例〉プログラムNo.005のプログラムを消去するには

修正 キーを押す。

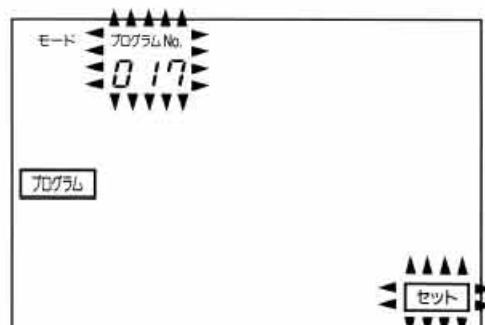
2

切0J→切0J→木5Eとキーを順に押す。

3

消去 キーを1秒以上押す。

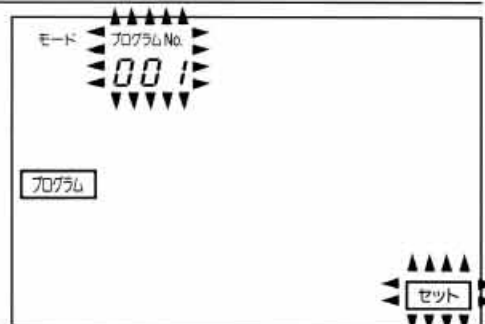
● "ピッ"（約1秒後）"ピピッ"と鳴りプログラムが消去され、次のプログラムNo.内容を表示します。

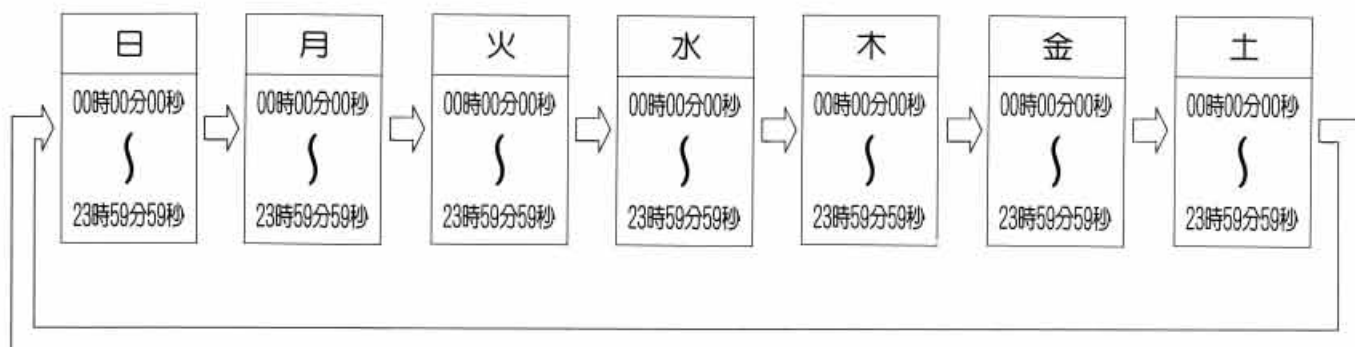
## ■すべてのプログラムの消去のしかた

プログラム キーを押す。

2

プログラム キーを5秒以上押す。

● "ピー"（約5秒）"ピピッ"と鳴り、すべてのプログラムが消去され、プログラムNo.001を表示します。

修正のしかた

# テストのしかた

●動作させたいスケジュールと曜日を設定し、動作確認を行います。

〈例〉スケジュールが１で、曜日が月曜から金曜のプログラムの動作を確認するには

動作 キーを押す。

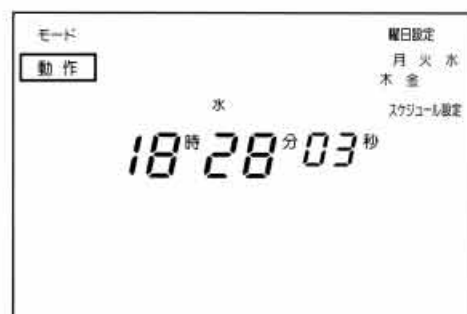
※モードが動作モードの場合は、2の操作から行ってください。

2

月・火・水・木・金キーを押して曜日を設定する。

●設定された曜日が点灯します。

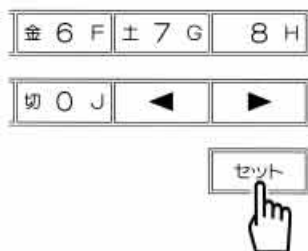
※もう一度押すと消えます。

3

①キーを押してスケジュールを設定する。

● 設定されたスケジュールが点灯します。
※もう一度押すと消えます。

4

テストキーを押す。

5

セットキーを押して動作させる。

※もう一度押すと動作が停止し、次のステップまたは、プログラムへ移ります。

6

5の操作を繰り返し、プログラム(ステップ)の動作を確認する。

※特定のプログラム(ステップ)の動作を確認する場合は、次の操作で行えます。

- ◄・►キーで、プログラム(ステップ)を選択して、セットキーを押す。
- プログラムNo.を入力してセットキーを押す。

※他のスケジュール・曜日のプログラムの動作を確認する場合は、もう一度1の操作から行ってください。

メモ　各モード入力中、3分間キー入力が行われないと動作モードへ戻ります。

# 動作について

●入力したプログラムを動作させるには、スケジュール設定、曜日設定を行う必要があります。

・スケジュール設定とは……本機は4種類のスケジュールを入力でき、行事や季節などで放送内容が変わるときに、スケジュール設定を行います。
（動作できるスケジュールは、あらかじめプログラムに入力されているスケジュールだけです。）

・曜日設定とは………………本機は曜日ごとにプログラムを動作させるか、動作させないかの設定が行え、祝祭日に動作させなくするときなどに、曜日設定を行います。
（動作できる曜日は、あらかじめプログラムに入力されている曜日だけです。）

## ■スケジュール設定、曜日設定のしかた

〈例〉スケジュールが1で、曜日が月曜から金曜のプログラムを動作させるには

1

動作 キーを押す。

※モードが動作モードの場合は、2の操作から行ってください。

2

㊊・㊋・㊌・㊍・㊎キーを押して曜日を設定する。

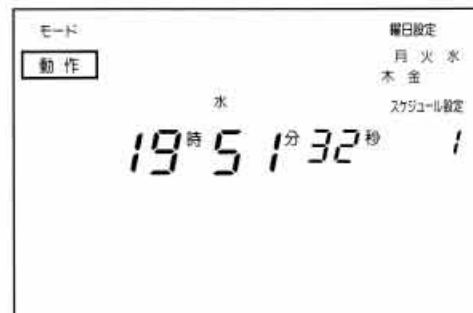
●設定された曜日が点灯します。

※すでに曜日が設定されている場合は、この操作は行いません。

3

①キーを押してスケジュールを設定する。

●設定されたスケジュールが点灯します。

※すでに1が設定されている場合は、この操作は行いません。

# 操作ロックについて

●操作ロックを行うと、操作パネルのキー入力を受付けなくなり、部外者の無断操作やいたずらを防止することができます。

## ■操作ロックのしかた

1

木5Eキーを続けて3回(3秒以内)押す。

●操作ロックが点灯し、操作パネルのキー入力を受付けなくなります。

## ■操作ロックの解除のしかた

1

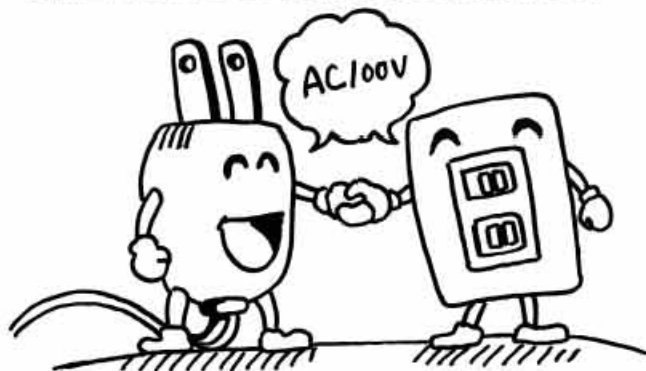
木5Eキーを続けて3回(3秒以内)押す。

●操作ロックが消え、操作パネルのキー入力を受付けます。

# 使用上のご注意

## 本機を安全にご使用いただくため、次の事項を必ず守ってください。

### 電源電圧は、AC100VまたはDC24V

電源に異なった電圧を加えると、危険です。

（DC24V端子は本機後面にあります。）

### 水は禁物

水が入ると火災や感電の恐れがありますのでご注意ください。

### 電源プラグの抜き差しは電源プラグを持って

電源コードを引っ張ると断線や感電の恐れがあります。

### 高温になる場所に放置しない

ストーブなど高温となる機器の近くで使用しますと、故障の原因になりますのでご使用にならないでください。

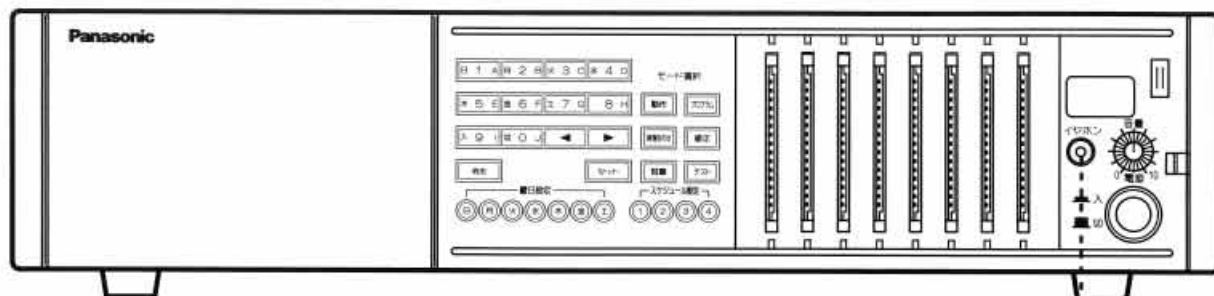
### 分解は事故のもと

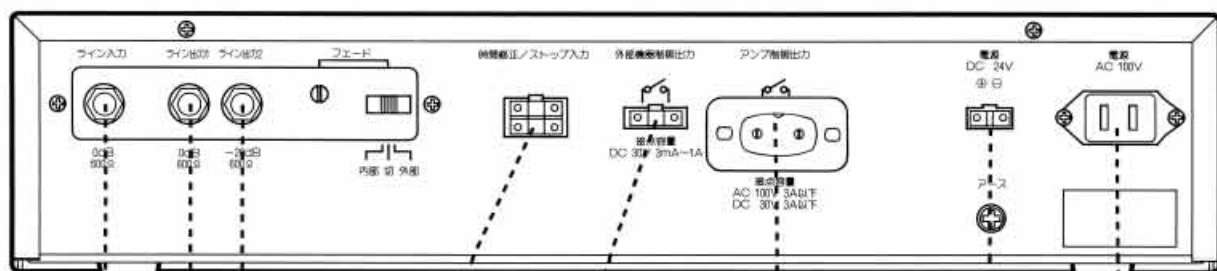
分解したり、不用意に内部をさわると、感電や故障の原因になります。

### お手入れは

- 電源を切って乾いた布、または台所用洗剤を布に浸み込ませて軽くふいてください。
- ベンジン、シンナーなどはキャビネットが変質したり塗装がはげることがありますので避けてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

# 設置のしかた

## ■前面

※イヤホンをジャックへ接続しても、
ライン出力は出力されます。

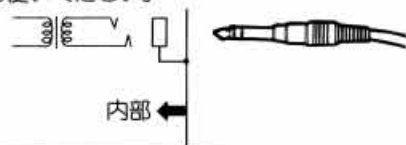
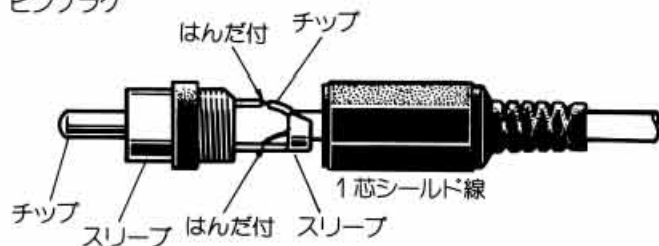
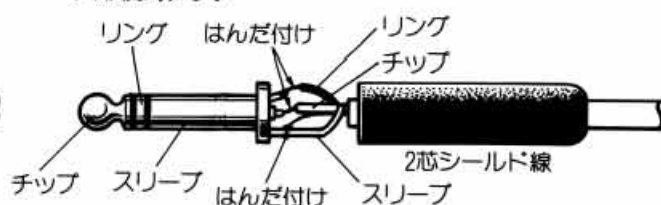
## ■後面

ライン入力端子へ
ライン出力端子へ
時刻修正端子へ
ストップ端子へ
外部機器制御出力端子へ
アンプ制御出力端子へ
DC電源端子へ
AC電源端子へ
赤 黒
AC100V 50/60Hz
時刻修正信号出力元へ
ストップ信号出力元へ
BGM演奏装置などの起動入力端子へ
アンプの電源制御端子へ
⊕ ⊖ DC24V
常時通電している電源へ接続してください。
ミキシング用テープデッキCDプレーヤなど
アンプ
スピーカ
…大形単頭プラグ（φ6、モノラルタイプ）

他の機器からのライン出力を本機のライン入力端子に接続すると、本機の音源とミキシングすることができます。

平衡入出力にするには、大形複式プラグをお使いください。
内部

## ■プラグ接続のしかた

ピンプラグ
はんだ付 チップ
チップ スリーブ はんだ付 スリーブ
1芯シールド線

大形複式プラグ
リング はんだ付け リング チップ
チップ スリーブ はんだ付け スリーブ
2芯シールド線

※信号はチップーリング間です。
スリーブはアースです。

使用上のご注意／他

## ■アンプ制御出力について

………アンプ制御出力は、再生中に接点が閉じる出力で、外部アンプなどの制御を行うことができます。

- アンプ制御出力は、無電圧接点出力です。
- 接点容量に注意して接続してください。

  接点容量　AC 100V　3mA～3A　または
  　　　　　DC　30V　3mA～3A（抵抗負荷の場合）
- アンプ制御出力は、ディレー動作中も出力されます。
- アンプ制御をAC100Vで制御する場合、付属のアンプ制御出力コネクタに使用する電線は、電気用品取締法で定められたものをお使いください。

## ■外部機器制御出力について

……外部機器制御出力は、［動作］モードおよび［テスト］モード時において、［プログラム］モードで設定された時間に接点が開くまたは閉じる出力で、BGM演奏装置などの起動制御を行うことができます。

- 外部機器制御出力は、無電圧接点出力です。
- 接点容量に注意して接続してください。

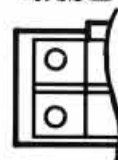
  接点容量　DC 30V　3mA～1A（抵抗負荷の場合）

## ■ストップ入力について

………ストップ入力は、［動作］モード時において、再生中にONすると、再生を停止することができます。

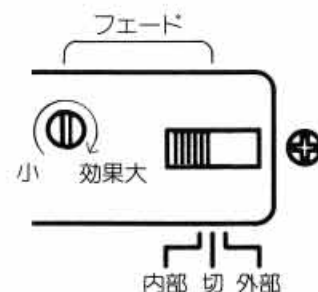
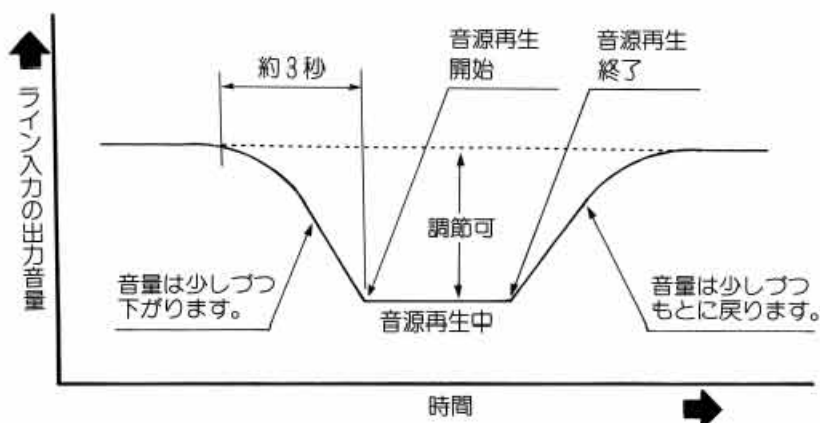
- ストップ入力は、無電圧接点入力またはNPNオープンコレクタ入力です。NPNオープンコレクタ入力の場合、付属の時刻修正/ストップ入力コード（黄－黒）の黄色をコレクタ側に接続してください。
- スイッチ、リレーなどの接点を接続する場合、微小電流開閉用のもの（DC12V、1mA以下を開閉できるもの）をお使いください。
- 入力信号幅は最低50ms以上必要です。これ以下ですと、受付けない場合があります。

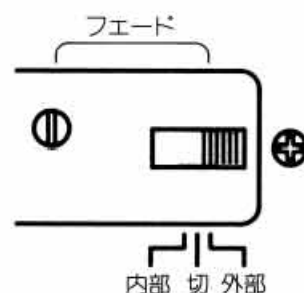
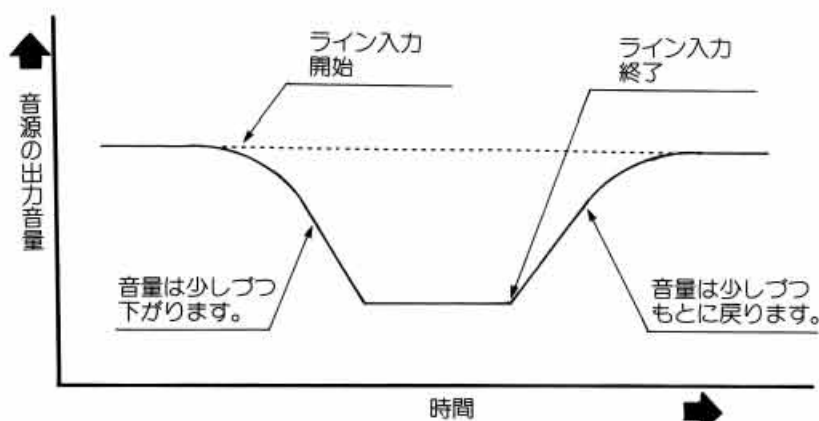
## ■時刻修正について……………時刻修正は、ONすると、時刻の秒を00秒にリセットすることができます。（時刻合わせモードでは行えません。）

- 時刻修正は、無電圧接点入力またはNPNオープンコレクタ入力です。NPNオープンコレクタ入力の場合、付属の時刻修正／ストップ入力コード（青－黒）の青色をコレクタ側に接続してください。
- スイッチ、リレーなどの接点を接続する場合、微小電流開閉用のもの（DC12V、1mA以下を開閉できるもの）をお使いください。
- 入力信号幅は最低50ms以上必要です。これ以下ですと、受付けない場合があります。
- 時刻修正をONにした時点での秒が00～29秒のときは切り捨てられ、30～59秒のときは分への桁上げが行われ、00秒からスタートします。

# フェード

## ■フェードスイッチについて

内部…本機の音源でライン入力の出力音量を変化させます。

- フェード調節ボリュームで、ライン入力の出力音量の上がり下がりを調節することができます。

外部…ライン入力で本機の音源の出力音量を変化させます。

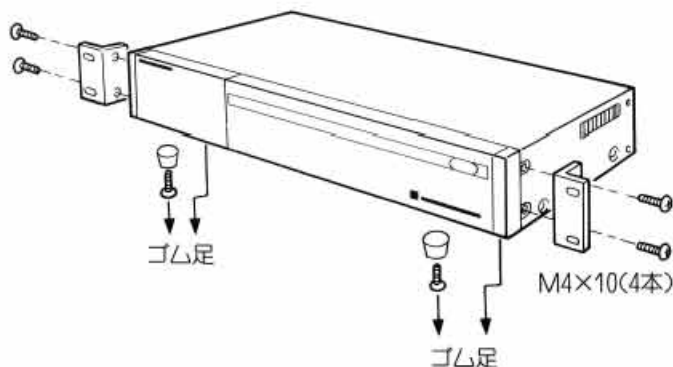
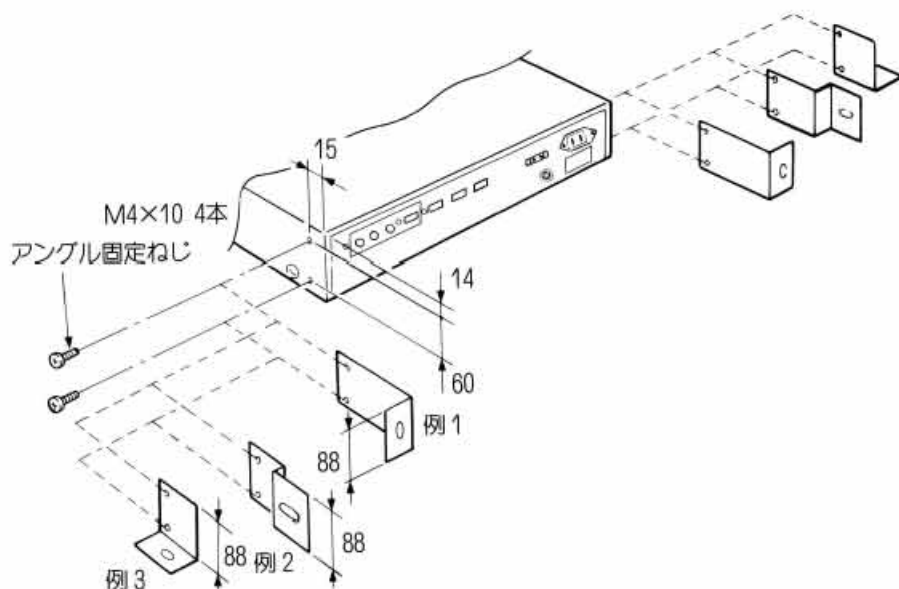
- フェード調節ボリュームは働きません。

ご注意
ライン入力のレベルが不足しているとフェードが正常に働かないことがあります。(目安として－10dB以上を入力してください。)

# EIAラックへの収納のしかた

## ■ラックマウントアダプタ(別売)を本機に取り付けることにより、EIAラックに収納することができます。

●ラックマウントする場合、別途次の工事部品が必要です。

①ラックアングル(TO-RAH2S) ………… 2
②飾りねじ(W2-MSS/5008) ……………… 2

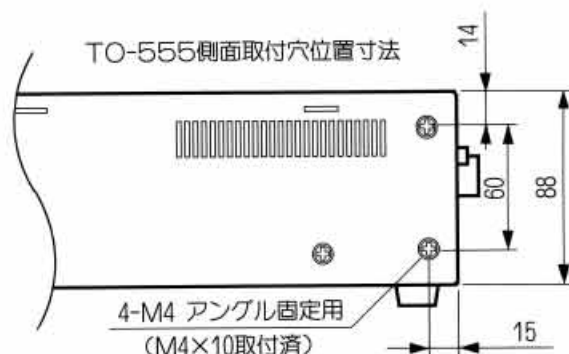
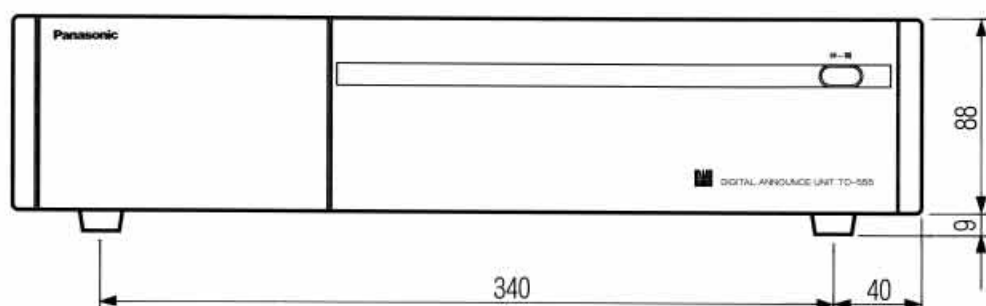
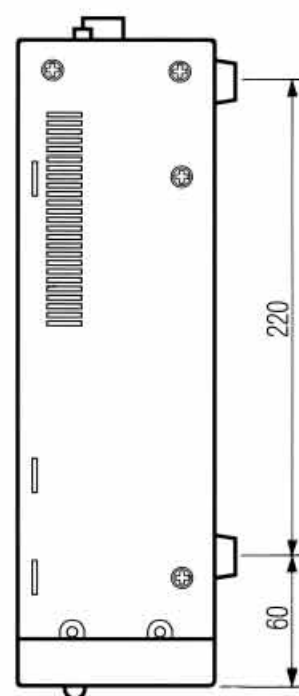
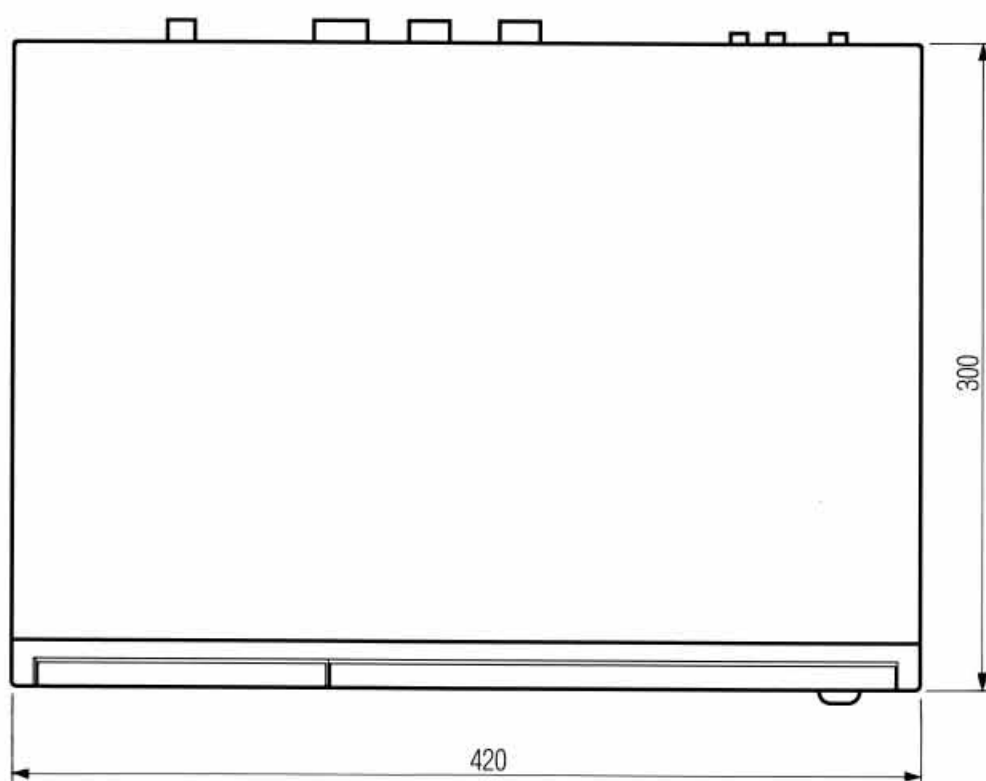
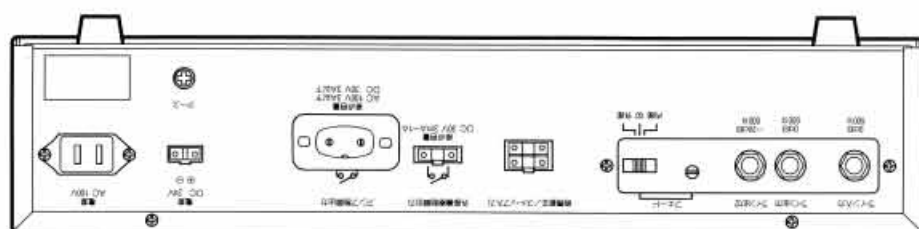
取り付けかた
①ゴム足4コをプラスドライバーでゆるめて取り外します。
②ラックアングルを付属のねじ(M4×10)でとめます。
③ラックに取り付けます。

※ラックに収納し、トラック等で輸送する場合、振動衝撃を受け本機を破損する恐れがあります。
補強対策としては後面に輸送用補強アングル(現地製作)でラック本体に固定して輸送してください。

補強アングル
例1.ラック後面に取りつける場合
例2.ラック側面　〃
例3.ラック底面　〃

| アングル製作の際の条件 |
|---|
| 使用ねじ:M4×10 |
| アングル板厚:鉄板2㎜以上 |

# 外観寸法図

300
420

220
60

Panasonic
DIGITAL ANNOUNCE UNIT TD-555
88
9
340
40

# 故障!?と思う前に

## ■こんなときは故障ではありません

修理を依頼する前に、もう一度次のことを確認してください。
それでもなお異常がある場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。

| 症　状 | 点検項目 | 処　置 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| 電源が入らない。 | 電源コードがはずれていませんか。 | コードをしっかり差し込んでください。 | — |
| 操作パネルのどのキーを押しても受けつけない。 | 操作ロックが点灯していませんか。 | 操作ロックを解除して、操作ロックを消してください。 | 33 |
| 音がでない。 | 接続に間違いはありませんか。（その他、断線・ゆるみ等） | 設置のしかたをご覧になり、確認をしてください。 | 35 |
|  | 音量調節つまみが0になっていませんか。 | 音量調節つまみを回して音量を調節してください。 | — |
|  | メモリーカートリッジが入っていますか。（ただし、ウエストミンスターチャイムとラジオ体操第一は内蔵されています。） | メモリーカートリッジを入れてください。 | 6 |
| プログラムした通りに動作しない。 | 時刻が合っていますか。 | 正しい時刻に合わせてください。 | 12〜13 |
|  | 曜日が設定されていますか。 | 曜日を設定してください。 | 32 |
|  | スケジュールが設定されていますか。 | スケジュールを設定してください。 | 32 |

## ■エラー表示について

……本機には、操作に間違いがあった場合に、その原因をエラー表示で知らせる機能があります。下表のエラー表示に応じた処置を行ってください。（エラー表示はセットキーを押すと消えます。）

| エラー表示 | モード | 原　因 | 処　理 |
|---|---|---|---|
| エラー 1 | プログラム | 入力したプログラムのスケジュール・曜日・時刻が他のプログラムNo.と重複している。 | プログラムシートを確認してください。 |
| エラー 2 | プログラム | プログラムが001〜199まですべて入力されている。 | 不必要なプログラムを消去してください。 |
| エラー 3 | 修　正 | プログラムがひとつも入力されていない。 | プログラムを入力してください。 |
| エラー 4 | テスト | プログラムがひとつも入力されていない。 | プログラムを入力してください。 |
|  |  | 曜日設定、スケジュール設定に対応したプログラムがない。 | 曜日設定、スケジュール設定をやりなおしてください。 |
|  |  | 曜日設定、スケジュール設定をしていない。 | 曜日設定、スケジュール設定をしてください。 |

# アフターサービスについて

## ■保証書（別に添付してあります。）

●保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入を確かめて、販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後大切に保管してください。

保証期間…お買上げの日から１年間です。

## ■修理を依頼されるとき

この取扱説明書の「故障!?と思う前に」の表に従って調べていただき、直らないときには必ず電源プラグを抜いてから、次の処置をしてください。

●保証期間中は ……………………………恐れ入りますが、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店までご持参ください。保証書の規定に従って、修理致します。

●保証期間が過ぎているときは …………お買い上げの販売店に、まずご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理致します。

修理を依頼されるときにご連絡いただきたい内容

●ご住所・ご氏名・電話番号
●製品名・品番・お買い上げ日
●故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

## ■補修用性能部品の最低保有期間

●本機の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後８年です。

## ■アフターサービス等について、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または工事店にお問合わせください。

# 仕様

| | |
|---|---|
| 電源電圧 | AC100V±10%(50/60Hz)または、DC24V±10% |
| 消費電力 | 約13W(電源スイッチ「切」のとき:約4W) |
| 停電補償 | 約1ケ月間(周囲温度25℃:メモリと時計のみ、3日間充電完了時) |
| 入力回路 | ストップ入力:1点、無電圧接点入力またはNPNオープンコレクタ入力<br>時刻修正入力:1点、無電圧接点入力またはNPNオープンコレクタ入力<br>ミキシング入力:1回路、ライン入力　フェード機能つき(0dB600Ω)平衡 |
| 出力回路 | アンプ制御出力:1点、無電圧接点出力(再生中:入)<br>接点容量AC100V　3mA〜3Aまたは<br>DC　30V　3mA〜3A(抵抗負荷)<br>外部機器制御出力:1点、無電圧接点出力<br>接点容量DC　30V　3mA〜1A(抵抗負荷)<br>音声出力:2回路、ライン出力1(0dB600Ω)平衡<br>ライン出力2(−20dB600Ω)平衡<br>モニタ出力:1回路、イヤホン出力 |
| 音声記録方式 | 振幅圧縮伸長PCM方式 |
| サンプリング周波数 | 10kHz |
| 音源数および秒数 | 本体内蔵:2音源、ウエストミンスターチャイム(約26秒)<br>ラジオ体操第一「郵政省簡易保険局・日本放送協会制定」(約190秒)<br>カートリッジ収納:最大8音源(メモリーカートリッジ8個装着時)最大1664秒 |
| プログラム数 | 199プログラム(4スケジュール任意分割可能) |
| プログラム形式 | スケジュール・曜日・時・分・秒・ディレータイム・カートリッジ音量・カートリッジ接続(最大接続数6ステップ)・外部機器 入/切 |
| 時計部 | 精度:月差約15秒以内(周囲温度25℃)<br>同期運転:無電圧接点入力またはNPNオープンコレクタ入力により同期可能 |
| 保存温度 | −20℃〜70℃ |
| 使用周囲温度 | 0℃〜40℃(相対湿度10〜90%ただし結露なきこと) |
| 取付方法 | 据置きまたはEIAラック収納 |
| 外形寸法 | 420(W)×88(H)×300(D)mm(ただし突起部含まず) |
| 重量 | 約5.4kg |

本機は、〝外国為替及び外国貿易管理法〟で定められた戦略物資に該当します。本機を輸出するとき、または国外に持ち出すときは、日本国政府の輸出許可が必要です。

**便利メモ**（おぼえのため、記入されると便利です。）

| ご購入年月日 | 年　月　日 | 品　番 | TO－555 |
|---|---|---|---|
| ご購入店名 | 電話（　　）　－ | | |

松下電器産業株式会社
松下電子応用機器株式会社
〒321-3231 栃木県宇都宮市清原工業団地23-9 TEL(028)667-4276

N1291T1022